



特定非営利活動法人 日本歯周病学会

2026年 第1号 (4月)

ニュースレター

〒170-0003

東京都豊島区駒込 1-43-9 (一財) 口腔保健協会内

TEL : 03-3947-8891 FAX : 03-3947-8341 <https://www.perio.jp/>

発行人 吉成伸夫 編集 広報委員会

【主要コンテンツ】 追悼：荒木久生先生・岡本 莫先生 秋季学術大会案内 日本歯科専門医機構報告
理事長選挙中間報告 海外学術大会報告 臨床研修会・若手合宿研修報告

APSP Meeting Returns to Japan!



名誉会員・監事
APSP 事務局長
村上伸也

Asian Pacific Society of Periodontology (APSP : アジア太平洋歯周病学会) は、アジア太平洋の広汎な地域における歯周病学・歯周治療学の発展と国際的連携の強化を目的として設立された国際学術団体です。

これら地域では、その経済発展とともに口腔保健への関心が高まる一方で、歯周病の罹患率は依然として高く、その対応は喫緊の課題となっています。そこで、国境を越えた学術交流と協力体制の必要性が強く認識されてきました。このような背景の下、1993年にアジア太平洋地域の歯周病学・歯周治療学分野を代表する研究者・臨床家の主導により APSP は設立され、その当初から、東アジア・東南アジア・南西アジアの諸国、さらにオーストラリア、ニュージーランドの代表が参加し、多様な文化・医療環境を超えた学術的ネットワークの構築を進めてきました。

APSP の中核的な活動は、2年ごとに開催される学術大会です。第1回の学術大会がオーストラリアのブリスベンで開催されて以降、これまでに15回の学術大会を開催してまいりました。日本歯周病学会は第10回の記念大会の主催国となり、2013年9月に奈良の地

で APSP 学術大会を盛大に開催しています (大会長 : 永田俊彦理事長 (当時))。これまでの学術大会では、歯周病学・歯周治療学に関する基礎研究から臨床研究、さらにはインプラント治療も包括する幅広いテーマが議論され、その時々最新の知見が学会参加者に共有されてきました。加えて、若手研究者や次世代の臨床家育成にも力を注ぎ、アジア太平洋地域の人材育成を支援してまいりました。そしてこのたび、2026年11月に日本歯周病学会が2度目の主催国となり、京都の地で APSP 学術大会を開催する運びとなりました (大会長 : 吉成伸夫理事長)。

日本歯周病学会は、国ごとの交流協定や、学術大会時の国際セッションの開催などを通じて、アジア諸国との国際連携をさまざまな形で推進してまいりましたが、今回の APSP 学術大会では、それらの国々の歯周病学会代表者が一堂に会する好機となります。ぜひこの機会に、参加各国との国際交流の輪を広げていただき、アジア太平洋地域における日本歯周病学会のプレゼンスを高めていただきたいと念じております。

詳しくは、以下のとおりです。

第16回アジア太平洋歯周病学会 (APSP) 学術大会
開催期間 : 2026年11月5日 (木), 11月6日 (金)
会場 : 京都市勧業館 みやこめっせ
学会テーマ : Beyond Boundaries : Shaping a Sustainable Future for Asia-Pacific Periodontology
大会ホームページ : <https://web.apollon.nta.co.jp/apsp2026/>
学会運営事務局 : (株) 日本旅行 西日本 MICE 営業部
E-mail : apsp_2026@nta.co.jp

追悼 荒木久生 先生



日本歯周病学会名誉会員、明海大学歯学部名誉教授の荒木久生先生が、2025年7月4日に逝去されました。享年67でした。あまりにも早いご逝去に、深い悲しみと喪失感を禁じえません。

荒木先生は1976年に城西歯科大学（現明海大学歯学部）に入学され、1982年に同大学を卒業されました。卒業後は明海大学歯学部歯科臨床研究所附属PDI埼玉歯科診療所で2年間の臨床研修を修められ、引き続きPDIで教員として後進の指導にあたられました。

1990年に博士（歯学）を取得、1992年にPDI埼玉歯科診療所所長に就任され、以来、PDIの臨床・教育・研究の発展に尽力されました。2003年には明海大学歯学部教授に就任され、2004年からはPDI統括部長として教育・臨床体制の充実を主導されました。

私は荒木先生の1年後輩としてPDI埼玉歯科診療所で研修を受け、その後15年間PDIで勤務しておりました。研修医時代から、荒木先生には臨床の基礎をご指導いただきました。特に、PDIの若手歯科医師数名で「咬合研究会」を立ち上げ、診療後に毎週勉強会

を開催し、荒木先生から咬合学の基本を指導していただいたことが大変懐かしく思い出されます。

荒木先生は元来、大変几帳面な性格の持ち主で、何事も綿密な計画を立て、それを確実に実践し成果を収められていました。その経験はPDI研修医の教育・研究・臨床にも生かされ、PDI統括部長としても多大な成果を収められました。

2017年からは埼玉県入間市にあるPDI埼玉歯科診療所から、病態診断治療学講座総合臨床歯科学分野教授として勤務地を坂戸キャンパスに移され、歯学部内で学生や研修歯科医に対し、幅広い教育・臨床活動を牽引され、2023年3月に定年退職後、同年4月に明海大学名誉教授とされました。

また、荒木先生は日本歯周病学会においても長年にわたり歯周病学の発展に尽力されました。1984年9月3日に日本歯周病学会に入会され、以来、多くのPDIの医局員とともに学術大会に参加されました（写真1）。さらに1995年4月1日から2025年3月31日まで評議員、2013年4月1日から2025年3月31日まで理事として学会運営の中樞を担い、専門医委員会委員（2011年4月1日～2017年3月31日、写真2）や歯科衛生士関連委員会委員（2019年4月1日～2023年3月31日）として、専門医制度や歯科衛生士教育の充実にも大きく貢献されました。そして、明海大学歯学部を定年退職後、2025年4月1日には日本歯周病学会名誉会員に推挙されました。

常に冷静で誠実、臨床と学問の両立を重んじる荒木先生のお姿は、これまで指導していただいた多くの後



写真1 2013年秋季大会、PDIメンバーと

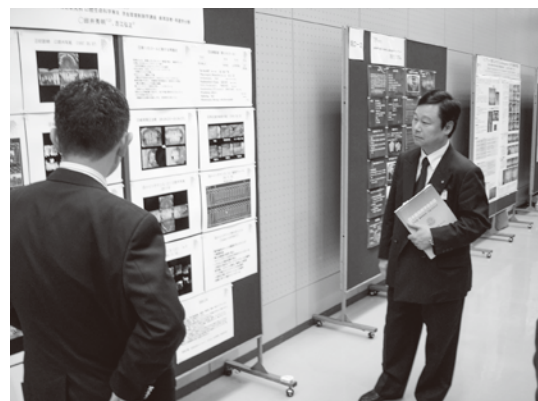


写真2 2006年専門医ポスター発表 座長

進の先生方の指針となっています。

ここに生前のご功績とご厚誼に深く感謝申し上げますとともに、謹んで哀悼の意を表し、先生のご冥福を

心よりお祈り申し上げます。合掌

明海大学副学長／名誉会員 申 基喆

追悼 岡本 莫 先生



2025年（令和7年）7月19日、広島大学名誉教授・日本歯周病学会名誉会員の岡本 莫（おかもと ひろし）先生が、享年93（満93歳）にて逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

岡本先生は、1957年（昭和32年）に大阪大学歯学部をご卒業後、1958年（昭和33年）に同助手として歯科医学の道を歩まれました。1969年（昭和44年）には広島大学歯学部助教授に就任され、1973年（昭和48年）からは教授として、長年にわたり歯周病学・歯内療法学の教育・研究・臨床に尽力されました。同年には日本歯周病学会理事にも就任され、学会の発展においても中心的な役割を果たされました。

広島大学において岡本先生は、歯科保存学第二講座（当時）の充実と発展に大きく寄与されました。歯周病の病態を科学的に解明する姿勢を基盤としつつ、常に臨床への還元を重視され、基礎と臨床を往還する歯周病学の重要性をみずから体現されていました。その真摯な研究姿勢は多くの門下生に受け継がれ、今日の歯周病学を支える礎となっております。

教育者としての岡本先生は、学生に対して常に誠実であり、歯周・歯内治療における診断の重要性や、患者背景を踏まえた治療計画の立案を丁寧にご指導くださいました。理論のみならず、臨床現場での判断過程を重んじるその姿勢は、多くの教え子の臨床観に多大な影響を与えています。

また、1986年（昭和61年）に広島大学歯学部附属病院長、1990年（平成2年）には歯学部長を歴任され、教育・研究・診療の三位一体の体制整備に尽力されました。大学運営においても常に全体を俯瞰し、歯学部の将来を見据えた舵取りをされていたお姿が深く印象に残っています。

1995年（平成7年）3月に定年退官された後は、広島市内で歯科医院を開院され、地域医療の現場に身を置かれました。とりわけ慢性期病院や介護老人保健施設への訪問歯科診療に精力的に取り組まれ、大学で培われた知見と経験を地域歯科医療の発展へと注がれました。

日本歯周病学会においては、理事として学会運営に深く携わり、学術的水準の向上と体系化に寄与されました。歯周病学をいかに社会に還元すべきかという視点を持ち、学術と臨床を結ぶ理想的なあり方を示し続けられました。温厚で誠実なお人柄の先生は、議論の場においても他者の意見に真摯に耳を傾け、本質を突く言葉で周囲を導かれる存在でした。そのお姿は、今なお多くの関係者の心に深く刻まれています。

岡本先生が歯周病学に遺された多大なご功績と、育成された多くの人材は、これからも日本の歯周病学の発展のなかで生き続けるものと確信しております。私事ではございますが、私は岡本先生の在任中に学生として講義を受け、その後、大学院生として門を叩き、ご指導の下で学位を取得させていただきました。教え子の一人として追悼の辞を述べさせていただきますこと、光栄に存ずるとともに、改めて責任の重さを痛感しております。

ここに先生のご生前のご功績を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

広島大学病院口腔総合診療科教授
河口浩之

第 69 回秋季日本歯周病学会学術大会開催のご案内

令和 8 年（2026 年）10 月 16 日（金）、17 日（土）の 2 日間にわたり、第 69 回秋季日本歯周病学会学術大会を広島市の広島国際会議場において開催いたします。今大会のメインテーマは「初志貫徹」といたしました。歯周病治療あるいは歯周病研究を志したときの気持ちを今一度思い出していただき、その気持ちを貫き通すことで国民が恩恵を受けることを、改めて考える大会にしたいと思います。初志を一つの形にされた先生、またその志の真ただ中にある先生方に登壇していただき、熱い議論をしていただければと考えております。

大会プログラム 1 日目には、特別講演 I として、歯周医学（Periodontal Medicine）におけるトップランナーとして研究を行われた西村英紀先生（九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座歯周病学分野）に「私の歯周医学研究（仮）」のタイトルでご講演をいただき、歯周病と糖尿病に関する研究のアップデートをしていただく予定です。また、特別講演 II として、顎顔面領域の遺伝子疾患である cherubism の原因遺伝子 SH3BP2 を同定しその病態を解明された植木靖好先生（Indiana University School of Dentistry）に「初志貫徹：チェルビズム研究に見る私の「アマゾン型」と「警視庁型」二つのアプローチ」のタイトルでご講演をいただき、若手研究者に対して研究の面白さを熱く語っていただく予定です。シンポジウム I においては、「侵襲性歯周炎」をテーマとして、山口 哲先生（大阪大学大学院歯学研究科 AI 研究ユニット）、藤原千春先生（大阪大学歯学部附属病院口腔治療・歯周科）、吉本哲也先生（広島大学病院口腔先端治療開発学）の講演を企画しています。最新の侵襲性歯周炎研究の成果を講演いただき、侵襲性歯周炎に関する知見を分かち合う場にする予定です。

大会プログラム 2 日目には、特別講演 III として、大月基弘先生（DUO デンタルクリニック）に「歯周基本治療を軸とした歯周治療から進化をとげる歯周組織再生療法」を講演していただきます。歯周基本治療の重要性を臨床医の立場からお示しいただく予定です。シンポジウム II では、「チームアプローチとしての歯周病治療」をテーマとして、2 つのチームに登壇いただきます。1 チーム目として斎田寛之先生と片山奈美 DH に「歯の保存を中心に」、2 チーム目として井原雄一郎先生と服部めぐみ DH に「積極的な介入による歯

周病治療」に関して講演いただきます。また、倫理委員会企画講演では、木ノ下智康先生（国立長寿医療研究センター）にご講演をいただきます。こちらは日本歯科専門医機構の共通研修項目①医療倫理に申請予定です。歯科衛生士シンポジウムでは、タイトルを「根分岐部病変における歯周治療を再考する—診断から長期管理まで—」として、相見礼子 DH（石田歯科矯正歯科クリニック/広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター）、下田裕子 DH（水上歯科クリニック）、加藤雄大先生（北欧歯科）にご講演をいただきます。新たな試みとして「認定歯科衛生士取得を目指した初めての症例発表」と題した歯科衛生士ワークショップを行います。臨床経験の浅い歯科衛生士に症例を持ち寄って発表していただき、症例検討を参加者で行いたいと思います。本ワークショップには臨床経験豊富な方の参加はご遠慮いただき、発言のしやすい環境のなかでワークショップを進めたいと考えております。また、歯周外科およびインプラントに関するハンズオンセミナーを清水 賢先生（アルファ歯科クリニック）と上中茂晴先生（かみなか歯科）に行っていただきます。人数制限はございますが、若手歯科医師の先生方にはぜひ受講していただきたいと思います。会期中におきましてはその他、内田剛也先生（内田歯科医院）に認定医・専門医教育講演および長谷剛志先生（能登総合病院）に歯科衛生士教育講演を行っていただきます。一般口演・ポスター、歯科衛生士口演・ポスター、ランチョンセミナー、スイーツセミナー等も企画しております。詳細につきましては学術大会ホームページにてご案内いたします。

広島県は、歴史と自然が調和した魅力あふれる地です。まず、世界遺産の原爆ドームと平和記念公園は、平和の大切さを深く考える場所として訪れる価値があります。また、広島お好み焼きや牡蠣料理、汁なし担担麺などの地元グルメも絶品ですし、酒処としても知られており美味しい日本酒が楽しめます。瀬戸内海に面した美しい島々や、宮島の厳島神社は自然と歴史が融合した絶景スポットとして知られています。特に厳島神社は、海に浮かぶ美しい朱色の鳥居と歴史的な社殿が魅力です。満潮時には水面に映る姿が幻想的で、干潮時には歩いて近づくこともできます。紅葉シーズン以外でも、訪れる価値のある歴史と自然の宝庫です。

歴史と自然、食文化が豊かに融合した広島は、皆様にとって忘れられない思い出になると思います。ぜひ、10月の訪問時には、これらの魅力も存分にお楽しみください。スタッフ・関係者一同、全力で準備を進めております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

大会長 水野智仁

1. 会 期

令和8(2026)年10月16日(金)、17日(土)

2. 会 場

広島国際会議場

〒730-0811 広島市中区中島町1-5(平和記念公園内)

TEL: 082-242-7777

3. テーマ

初志貫徹

4. 事前参加登録期間および参加登録費

事前早期登録: 令和8(2026)年

5月19日(火)正午~7月31日(金)正午

事前後期登録: 令和8(2026)年

7月31日(金)正午~9月24日(木)正午

	事前早期	事前後期・当日
正会員	5,000円	8,000円
準会員(上記以外)	3,000円	6,000円
非会員(歯科医師・医師)	10,000円	13,000円
非会員(上記以外)	5,000円	8,000円
学生(歯学部・専門学校生)	1,000円	1,000円

5. 演題申込および抄録登録期間

令和8(2026)年5月19日(火)正午より

令和8(2026)年6月18日(木)正午まで

登録期間終了日は、アクセス集中によるエントリー遅延、不具合が起りやすいので、早めに登録をおすませください(登録期間以降は、受付・オンライン修正・削除はできません)。発表方法に関する詳細は、学術大会ホームページで案内予定です。演題登録時には登録サイトにて、留意事項を必ずご確認のうえ、ご応募くださいますようお願い申し上げます。

第69回秋季日本歯周病学会学術大会 事務局

広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学

準備委員長: 應原一久

〒734-8553 広島市南区霞1-2-3

TEL: 025-257-5663 FAX: 082-257-5664

第69回秋季日本歯周病学会学術大会 運営事務局

(株)日本旅行 西日本MICE営業部

〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3

大阪駅前第3ビル3階

TEL: 06-6440-1420 FAX: 06-5440-1414

E-mail: jspf69@nta.co.jp

第69回秋季日本歯周病学会学術大会臨床ポスター (認定医・歯周病専門医、若手ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター) 発表申込のご案内

学術大会における臨床ポスター(認定医・歯周病専門医、若手ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター)発表の演題募集は、一般演題とは別になります。受付は学術大会ホームページからのみになりますのでご注意ください。以下に概要を記します。

演題申し込みおよび抄録作成方法などの詳細は学術大会Webサイト上で公開予定です。認定医・歯周病専門医、若手、ならびに歯科衛生士症例のポスターカテゴリーごとに必ずご確認ください。

1. 演題発表資格

いずれのカテゴリーとも、筆頭発表者が歯周病専門医ならびに学会認定資格(認定医・指導医あるいは認定歯科衛生士)を有している必要はありませんが、筆頭発表者と発表における責任者は本学会会員に限ります。また、本学術大会における筆頭発表は1名1演題までといたします。詳細は学術大会ホームページをご参照ください。

2. 演題申込および抄録登録期間

令和8(2026)年5月19日(火)正午より

令和8(2026)年6月18日(木)正午まで

【注意事項】

A) 臨床ポスター、歯科衛生士ポスターは症例発表の場で、臨床研究の発表は認めておりません。臨床研究に該当する場合、一般演題での登録をお願いします。

B) 「認定医・歯周病専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方(薬機使用の考え方)」

https://www.perio.jp/member/certification/recognition/file/new/info_220602.pdf

「学術大会・臨床ポスター応募症例チェックリスト(学術大会ポスターチェックリスト)」

https://www.perio.jp/member/award/file/special/poster_checklist.pdf

上記を遵守いただきますようお願いします。



薬機使用の
考え方



ポスター
チェックリスト

C) 登録期間終了日はアクセス集中によるエントリー遅延・不具合が起りやすいので、お早めに登録をおすすめください。

D) 演題申込時には学術大会ホームページ記載の留意事項を必ずご確認のうえ応募くださいますようお願い申し上げます。上記事項を逸脱する行為および演題内容については、発表をお断りすることがあります。

3. 臨床ポスター発表の特典

臨床ポスター発表を行うと、筆頭発表者に対して資格申請・更新に必要な所定の研修単位が付与されます(歯周病専門医の申請時、および認定医と歯周病専門医の更新時の生涯研修単位における業績発表単位は10単位、認定歯科衛生士の申請時・更新時の生涯研修

単位における業績発表単位は10単位)。なお、感謝状は学術大会終了後郵送いたします。

4. 臨床・症例ポスターの発表様式

パネルサイズは高さ210cm×幅90cmです。表示形式および表記様式、ポスター討論についての留意事項を学術大会ホームページにてご案内していますのでご確認ください。**演題番号の個所や顔写真の掲示場所、「同意や承認」(手術の患者同意あり、発表の患者同意あり、未承認薬等使用状況の表示、利益相反状態の開示(コメント))の記載場所、ポスター討論の時間等細かく規定されていますので必ずご確認ください。**

印刷前にPDF形式で発表データを提出いただき、認定3委員会・大会校により、事前チェックを行います。なお、演題登録後に抄録の変更や討論時の発表者交代は認められません。問題が生じましたら運営事務局にご連絡ください。

5. ポスター賞について

認定医・歯周病専門医優秀臨床ポスター賞、ならびに若手臨床ポスター賞は選考対象となることを希望された発表が、ベストデンタルハイジニスト賞は歯科衛生士ポスター発表として演題登録いただいた発表のうち症例発表が選考対象となります(ただし、留意事項を遵守されていない場合は対象外)。受賞発表および表彰は次回学術大会(第70回春季日本歯周病学会学術大会)にて行います。その際、受賞ポスターは再掲しますので、発表ポスターの保管(データ版・紙版とも)にご協力願います。

歯周病専門医審査委員会委員長 山本松男
認定医委員会委員長 藤田 剛
歯科衛生士関連委員会委員長 三谷章雄

歯周病専門医・指導医・認定医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ

日本歯周病学会では、本年度の認定医・歯周病専門医・指導医および認定歯科衛生士の申請と更新、ならびに歯周病専門医研修施設および学会認定研修会の申請を受け付けます。各資格についてのタイムスケジュールは以下のとおりです。

1. 歯周病専門医・指導医申請(第74回専門医・指導医認定審査)および各資格の更新

令和8(2026)年6月22日(月):受付開始

令和8(2026)年7月10日(金):締切(消印有効)

令和8(2026)年8月7日(金):申請および更新に関する書類審査会開催

令和8(2026)年9月27日(日):(歯周病専門医申請者のみ)歯周病専門医本試験(ケースプレゼンテーション、口頭試問、ならびに筆記試験)開催

※第68回専門医認定審査より筆記試験が導入されました。書類審査合格通知時に詳細をご案内します。

令和8(2026)年10月15日(木):各資格申請・更新合格者を理事会で承認

令和8(2026)年10月16日(金):第69回秋季学術大会(広島)時に合格発表

令和8(2026)年12月頃:歯周病専門医審査合格証・指導医認定証発行*

※日本歯科専門医機構発行の歯周病専門医認定証は令和8(2026)年度末に行われる運用審査承認後に発行予定

2. 認定医申請(第36回認定医認定審査)および更新

令和8(2026)年7月13日(月):受付開始

令和8(2026)年7月31日(金):締切(消印有効)

令和8(2026)年8月20日(木):申請および更新に関する書類審査会開催

2025年後期より,認定医更新申請書類の提出方法が一部変更となります。詳細につきましては,学会ホームページにてご確認ください。

令和8(2026)年10月15日(木):(申請者のみ)
筆記試験会場:リーガロイヤルホテル広島

申請・更新合格者を理事会で承認

令和8(2026)年10月16日(金):第69回秋季学術大会(広島)時に合格発表

令和8(2026)年12月頃:認定医認定証発行

⇒平成30(2018)年1月1日より,新規認定医申請の際に,本学会が行う倫理に関する講演の受講(1回以上)が義務付けられました。

第34回認定医筆記試験より試験範囲が変更となります。「一般演題(臨床)チェックリスト」「臨床ポスターチェックリスト」「認定医・歯周病専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方」(日本歯周病学会会誌特別号参照)

3. 認定歯科衛生士申請(第43回認定歯科衛生士認定審査)および更新

令和8(2026)年6月1日(月):受付開始

令和8(2026)年6月19日(金):締切(消印有効)

令和8(2026)年7月5日(日):申請および更新に関する書類審査会開催

令和8(2026)年8月30日(日):(申請者のみ)
ケースプレゼンテーション

令和8(2026)年10月15日(木):申請・更新合格者を理事会で承認

令和8(2026)年10月16日(金):第69回秋季学術大会(広島)時に合格発表

令和8(2026)年12月頃:認定歯科衛生士認定証発行・認定歯科衛生士襟章送付

以上の各資格の申請・更新手続き,申請書類や規則等については,学会ホームページ(<https://www.perio.jp>)をご確認ください。ホームページに記載された方法に準拠しない申請・更新手続きは無効となります。

なお,規則・細則は改定されることがありますので,ホームページにおける申請受付前1カ月以内の最新の記載内容を確認してください。

歯周病専門医研修施設申請・更新のお知らせ

歯周病専門医の研修施設を認定する制度です。申請・更新受付とも期間は令和8(2026)年7月13日(月)~令和8(2026)年7月31日(金)(消印有効)です。申請・更新手続きについては,学会ホームページ(<https://www.perio.jp>)に記載してあります。

認定医,歯周病専門医・指導医更新に関わる研修単位を取得できる歯周病専門医審査委員会が認めた歯周病に関する学会および研修会申請についてのお知らせ

歯周病学に関する専門的研修に寄与する学会,指導医等主催による任意の研修会について,研修単位取得対象研修会として認定する制度です。申請期間は令和8(2026)年7月13日(月)~令和8(2026)年7月31日(金)(消印有効)です。手続きの方法等を学会ホームページ(<https://www.perio.jp>)に記載しておりますので,これに従い手続きを行ってください。令和8(2026)年8月末頃までに歯周病専門医審査委員会の審査による認定の可否を通知いたします。

学会プロモーション活動について

国民に対する歯周病啓発活動について、進捗状況をお伝えします。

1. 国民向け新ホームページ「ペリオおぶっく」

記事内のイラスト修正等を行い、よりわかりやすい内容に更新しました。リンクフリーですので、勤務先ウェブサイトへの掲載を歓迎します。また、歯科医師会等で転載される際は学会事務局まで申し出てください。



ペリオおぶっく

<https://periobook.perio.jp/>

2. 国民向け歯周病関連のPR動画の作成

令和8(2026年)3月11日より、LINEスタンプ第2弾を公開しました。また、自治体や地域の歯科医師会・歯科衛生士会における歯科に関する普及活動で「にゃ

んかむちゅ〜」キャラクターを使用したい、イベント会場で動画を放映したい場合は、学会事務局までご相談願います。



にゃんちゃん
CV: 花江夏樹



チュー太
CV: 花江夏樹



かば山かば彦
CV: 花江夏樹



にゃんかむちゅ〜
公式YouTube
チャンネル

日本歯科専門医機構報告

現時点までの歯周病専門医に関する対応について、ご報告いたします。流動的な状況もございますので、今後、取り扱い等の変更が発生する可能性があることをあらかじめご了承ください。これからも、タイムリーに情報を発信いたしますので、会員情報の登録内容のご確認、ならびに電子メールご登録をお願いいたします。

口腔保健協会会員システム「OHASYS」

<https://ohasys.net/login>

※会員番号の確認はお手元の

会員カードをご参照ください。



1. 日本歯科専門医機構「共通研修」について

令和7(2025)年度からの共通研修ルールを改めてご案内します。お手元の認定証をご参照のうえ、ご自身がどのグループに該当するのかをご確認ください(次頁表参照)。なお、このルールは新規申請者にも適

用されますので、歯周病専門医取得を目指す会員各位におかれましてもご留意ください。

ご自身の共通研修単位の確認方法ですが、同主催元が多数あるため学会事務局での把握が困難です。生涯研修記録簿にて適時記録のうえ、ご確認ください。

本学会では会員負担を考慮し、春季・秋季学術大会内で「共通研修」に認定された講演を実施し、本学会学術大会への参加(現地・オンライン問わず)のみでカリキュラムを満たせるよう講演プログラムを編成しております。今後は、以下を開催予定です。

- 第69回春季学術大会：④院内感染対策(医療安全委員会企画講演)
- 第69回秋季学術大会：企画中

歯周病専門医資格の取得および更新をご予定の先生におかれましては、必要とされる「共通研修」の単位を確実に取得するために、各学術大会へ参加(Web参加も可能)のうえ、共通研修を受講してください。

指導医/歯周病専門医有効期限	グループ	更新に必要な共通研修受講条件
2025年10月1日～ 2026年9月30日	A	条件1：毎年度2単位，更新手続申請時点を基準として5年間で計10単位取得していること
2026年10月1日～ 2027年9月30日	B	条件2：機構が定める共通研修区分5項目（①医療倫理，②患者・医療者関係の構築，③医療安全，④院内感染対策，⑤医療関連法規・医療経済）の受講歴を各1単位以上有すること
2027年10月1日～ 2028年9月30日	C	
2028年10月1日～ 2029年9月30日	D	上記条件1・2に加えて，条件3を満たすこと 条件3：共通研修区分「①医療倫理」「②患者・医療者関係の構築」「⑤医療関連法規・医療経済」における各々1単位（合計3単位）は日本歯科専門医機構が主催する共通研修受講歴を有すること
2029年10月1日～ 2030年9月30日	E	

機構主催共通研修の経過措置（日本歯科専門医機構作成資料を一部改変）

2029年4月から，共通研修区分の「①医療倫理」「②患者・医療者関係の構築」「⑤医療関連法規・医療経済」の各々1単位（合計3単位）については本機構が主催する共通研修を受講することが必須になります。

グループ	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
	← 経過措置期間 →					
A	2025年度 機構審査予定者	機構審査年	専門医更新過程（原則5年間）			機構審査年
B	2026年度 機構審査予定者	機構審査年	専門医更新過程（原則5年間）			
C	2027年度 機構審査予定者	機構審査年	専門医更新過程（原則5年間）			
D	2028年度 機構審査予定者	機構審査年	専門医更新過程（原則5年間）			
E	2029年度 機構審査予定者	機構審査年	専門医更新過程（原則5年間）			機構審査年
	2030年度 機構審査予定者	機構審査年	専門医更新過程（原則5年間）			機構審査年

2028年度までの機構審査では本機構が主催する共通研修を受講することは必須ではありません。現在取得をしている共通研修単位を取り直す必要はありません。

2029年度の機構審査から本機構が主催した上記共通研修を受講しているか確認いたします。そのため、2025年度から2028年度の間に上記区分各々1単位（合計3単位）を受講してください。

2. 歯周病専門医の認定証発行について

日本歯科専門医機構認定歯周病専門医として制度が変更されたことに伴い，本学会が発行していた歯周病専門医の認定証は，取り止めとなりました。それに代わる証明として，歯周病専門医審査（1次審査）に合格された方には「歯周病専門医審査合格証」を登録料入金後発送します。また，「歯周病専門医記念の楯（希望者のみ）」についても「歯周病専門医審査合格証の楯（希望者のみ）」に変更となっております。

なお，日本歯科専門医機構発行「歯周病専門医認定証」は，同機構による認定審査（2次審査）終了後，発行予定です。

3. 令和6（2024）年度以降における機構認証に関わる受益者負担（経費負担）について

令和6（2024）年度以降の歯周病専門医更新料/登録料に日本歯科専門医機構審査料として11,000円を上乘せし，受益者負担となっております。

4. 日本歯周病学会認定「歯周病専門医」記載終了時期について

日本歯科専門医機構の基本領域に対応する5つの学会認定専門医について，当面の間に限り広告を認めるとしていた経過措置を令和10（2028）年度末で終了する旨，令和6（2024）年3月29日付で厚生労働省より発出されました。現行の歯周病専門医における広告標榜は令和11（2029）年度以降，【日本歯科専門医機構認

定歯周病専門医】のみとなり、【日本歯周病学会認定歯周病専門医】という記載は不可となりますのでご注意ください。

5. その他

今後、日本歯科専門医機構の方針により、歯周病専門医、ならびに同研修施設の新規申請・更新時に関する

基準などが変更になる可能性があります。その対応に関してはなるべくご負担にならない方法を本学会内で引き続き検討中ですが、急な変更となることもございますので、学会からの連絡（電子メール、ニュースレターの内容等）をその都度ご確認くださいませようお願いいたします。

第 112 回アメリカ歯周病学会共催日本臨床歯周病学会・日本歯周病学会 2026 大会のご案内

第 112 回アメリカ歯周病学会共催日本臨床歯周病学会・日本歯周病学会 2026 大会（AAP-JACP/JSP2026 シアトル大会）が、下記のとおり開催されることとなりました。日本からも多くの先生方が演者として採択されております。皆様のご参加をお願いいたします。

会期：令和 8(2026)年 10 月 29 日(木)～11 月 1 日(日)
会場：Seattle Convention Center

参加登録は、JACP/JSP 会員専用登録サイトで行ってください。詳しい登録方法は、日本歯周病学会ホームページ (<https://www.perio.jp/> AAP/JACP/JSP 大会バナー)でご案内中です。順次更新される当該ページの最新情報にご注目ください。また、同大会期間中

に JACP/JSP ポスターセッションも下記カテゴリで開催され、優秀な発表に両学会から表彰（JACP/JSP ポスター賞）が行われます。

ポスターカテゴリー：General (Basic research, Clinical research), Case Report, Dental Hygiene (歯科衛生関連の症例報告および臨床研究)

皆様お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

理事長 吉成伸夫
国際交流委員会委員長 山田 聡

令和 8 (2026) 年度 春季総会について

春季総会は以下の日時に開催予定です。参加人数の把握のため、出欠を事前に回答願います。

令和 8 (2026) 年 5 月 11 日 (月) 頃より、回答フォームでの受付開始予定です。詳細は、口腔保健協会会員管理システム「OHASYS」による電子メール配信でご案内いたします。

日時：令和 8 (2026) 年 5 月 22 日 (金)

10:10～11:40

場所：アクトシティ浜松

議事事項：庶務報告、会計報告、
各種委員会報告、その他

総会終了後、各賞表彰式実施



回答フォーム

第 27 期理事長選挙中間報告

来る令和 8 (2026) 年 5 月 21 日に開催される、第 69 回春季日本歯周病学会学術大会時の理事会において、次期理事長選出の選挙を行います。

理事長選挙管理委員会より、事前に理事長有資格者の先生方に立候補の意思の確認をさせていただいたところ、下記の 4 名の先生が「理事長有資格者として理事会の議を経て選挙管理委員会に推薦される事」に同意してくださいました。なお、所信表明をご執筆いただいております。

同意者が 4 名にとどまったため、評議員選挙での上位 5 名を決定する必要がなくなり、選挙は 5 月 21 日の第 69 回春季日本歯周病学会学術大会時の理事会での 1 段階選挙となります。

しかし、規定上の手続きにより、選挙の前に理事会において次期理事長有資格者 4 名を一括して選挙管理委員会に推薦いただく必要があり、持ち回り会議（郵送）によりご了承をいただきました。

結果といたしまして、選挙権を有する理事 51 名中 51 名のご返答をいただき、その全員に理事会よりの推

薦として同意いただきましたのでご報告させていただきます。

定款 37 条の 3 分の 2 以上を満たしておりますので理事会（持ち回り会議）として成立し、第 38 条による理事総数の過半数の同意も得られましたので正式に理事会承認とさせていただきます。

4 名の「次期理事長有資格者」を選挙管理委員会より「次期理事長候補者」として令和 8 (2026) 年 5 月 21 日に開催される、第 69 回春季日本歯周病学会学術大会時の理事会において報告させていただき、当日直接選挙が行われます。

記

次期理事長候補者：山本松男，山田 聡，佐藤 聡，
吉村篤利（届出日順）

以上

理事長選挙管理委員会委員長 長野孝俊

第 65 回韓国歯周病学会学術大会参加報告

The 65th General Session of Korean Academy of Periodontology (第 65 回韓国歯周病学会学術大会)が、2025 年 10 月 25、26 日にソウルで開催されました。日本歯周病学会からは 13 名が参加し、2 名が International Young Speaker Session で発表を行い、7 名がポスター発表を行いました。発表当日、国際優秀ポスター賞選考が実施され、JSP 関係者では信太実有先生（九州大）と尾崎幸生先生（長崎大）が受賞されました。

The 66th General Session of Korean Academy of Periodontology は本年 10 月にソウルまたは近郊で開催予定です。詳細は決まり次第、ご案内いたします。

皆様お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

理事長 吉成伸夫
国際交流委員会委員長 山田 聡

第 17 回中国牙周病学会学術大会参加報告

The 17th Chinese Society Periodontology (CSP) Anniversary Conference (第 17 回中国牙周病学会学

術大会)が、2025 年 10 月 16～19 日に成都で開催されました。日本歯周病学会からは、山田 聡国際交流委

員会委員長が国際シンポジウムで講演を行いました。
今年度は第 69 回秋季日本歯周病学会学術大会において、CSP 招待講演を実施予定です。詳細は決まり次

第、ご案内いたします。

理事長 吉成伸夫
国際交流委員会委員長 山田 聡

各賞・研究助成・若手合宿研修・若手研究者の集いのご案内

各賞・助成および企画の募集を下記のとおり行います。いずれも学会ホームページにて詳細をご確認ください。

1. 学術賞 (LION Award: 第 25 回, 令和 8 (2026) 年度)

令和 7 (2025) 年度実績: 採択数 2/応募数 8

本賞は、会員のうち歯周病学において継続して優れた業績を上げた研究者の功績を讃えることを目的に設けられました。副賞としてライオン株式会社のスポンサーシップを得ており、本賞 (学術賞楯) のほかに副賞 20 万円と楯 (LION Award) が贈られます。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。



<https://www.perio.jp/member/award/science.shtml>

申請期間: 令和 8 (2026) 年
4月13日 (月)~6月12日 (金)

申請書類提出用 ID: JSP-2026

書類提出用パスワード: JSP2026Gakujutsu

2. シーズ育成若手奨励研究助成 (令和 9 (2027) 年度)

令和 8 (2026) 年度実績: 採択数 1/応募数 5

本会では若手会員を対象とし、わが国における歯周病の研究・教育・医療および予防を推進することにつながるシーズ研究を奨励することを目的として、シーズ育成若手奨励研究助成を制定しております。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。



<https://www.perio.jp/member/assist/>

申請期間: 令和 8 (2026) 年
4月13日 (月)~6月12日 (金)

申請書提出用 ID: JSP-2026

書類提出用パスワード: JSP2026Seeds

3. 地域活動賞 (令和 8 (2026) 年度)

令和 7 (2025) 年度実績: 採択数 1/応募数 1

日本歯周病学会地域活動賞は、歯周病の予防・治療を通して、地域住民の健康増進に寄与した優れた活動業績を上げられた団体を表彰することを目的として平成 30 (2018) 年度に創設されました。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。



<https://www.perio.jp/member/award/regional.shtml>

申請期間: 令和 8 (2026) 年
2月2日 (月)~5月31日 (日)

※申請方法は郵送のみです (消印有効)

4. 歯周組織再生医学優秀発表賞 (KAKEN Award: 令和 8 (2026) 年度秋季学術大会発表)

令和 7 (2025) 年度 (秋季) 実績: 採択数 2/応募数 2

本賞は、日本歯周病学会各学術大会においてポスター発表された歯周組織再生に関する優れた研究 (臨床・基礎は問わない) および筆頭演者を表彰することを目的とし、令和 5 (2023) 年度に創設されました。本賞は副賞として科研製薬株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には本賞 (歯周組織再生医学優秀発表賞楯) のほかに、副賞 KAKEN Award (賞金 5 万円ならびにトロフィー) が贈られます。学会ホームページの応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。



<https://www.perio.jp/member/award/presentation.shtml>

申請期間: 令和 8 (2026) 年
5月19日 (火)~6月18日 (木)

申請書提出用 ID: JSP-2026

書類提出用パスワード: JSP2026Saisei

5. 学部学生優秀発表賞 (Nakanishi Award: 令和 8 (2026) 年度)

令和 7 (2025) 年度実績: 採択数 1/応募数 1

本賞は日本歯周病学会学術大会における学生の参加

および優秀な発表を奨励し、本学会のさらなる活性化を図ることを目的とし、令和5(2023)年度に創設されました。本賞は副賞として株式会社ナカニシのスポンサーシップを得ており、受賞者には表彰状のほかに、副賞 Nakanishi Award (賞金5万円ならびに表彰楯)が贈られます。学会ホームページの応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

<https://www.perio.jp/member/award/student.shtml>

申請期間：令和8(2026)年

5月19日(火)～6月18日(木)

申請書提出用ID：JSP-2026

書類提出用パスワード：JSP2026Gakusei

6. 若手研究者の集い(第59回、令和8(2026)年度)

本集いは春季学術大会時に合わせて開催しており、会員であればどなたでも参加可能です。詳細につきましては4月以降、学会ホームページで通知いたします。

日時：令和8(2026)年5月21日(木)

[春季学術大会前日]

18:00～20:00(予定)

場所：アクトシティ浜松 41会議室

演者：永田 瑞先生(東京科学大学大学院医歯学総

合研究科歯周病学分野助教)

吉本哲也先生(広島大学病院口腔先端治療開発学講座助教)

演題：未定

7. 若手合宿研修(第12回、令和8(2026)年度)

本研修会は、若手研究者のリサーチマインドをさらに活性化することを目的としております。特に海外留学経験者や現在留学中の先生方のお話を聞くことを主として、留学を本気で考えている先生から「研究留学ってなんだ?」と思われる先生まで、どなたでも参加可能となっています。他の大学に所属する同世代の先生と知り合いになるいい機会でもあります。研修形式は、秋季学術大会に合わせて開催される講演会と懇親会を含む1泊2日の合宿イベントで、お得な参加費(宿泊費込み)でおいしいお話を聞きながら食事を楽しむスタイルです。詳細につきましては、秋季学術大会の演題募集時期に合わせて学会ホームページで通知いたします。

日時：令和8(2026)年10月16日(金)～17日(土)

[秋季学術大会初日から2日目](予定)

場所：岩国国際観光ホテル(山口県岩国市)

定員：30～40名(予定)

費用：5,000円

歯科衛生士教育講演のご案内

今年度の開催予定は以下のとおりです。詳細は学会ホームページで通知いたします。

[茨城県]

日時：令和8(2026)年7月12日(日)

10:00～15:00

会場：茨城県歯科医師会館

[山口県]

日時：令和8(2026)年7月12日(日)

13:00～16:00

会場：山口県歯科医師会館

臨床研修会のご案内

今年度も2回開催を予定しております。決定後、学会ホームページで通知いたします。

第5回中部地区臨床研修会開催報告

主催：特定非営利法人日本歯周病学会
後援：公益社団法人三重県歯科医師会
大会長：辰巳順一（朝日大学口腔感染医療学講座歯周病学分野教授）
実行委員長：北後光信（朝日大学口腔感染医療学講座歯周病学分野准教授）
運営事務局：朝日大学口腔感染医療学講座歯周病学分野内（担当：北後光信）
日時：令和7年10月5日（日）12：50～17：00
会場：三重県歯科医師会館（三重県津市桜橋2-120-2）
メインテーマ：歯周治療を行おう！（ベーシック）

プログラム

開会式 大会長 辰巳順一教授
「日本歯周病学会の取り組み（認定制度を含めて）」
吉成伸夫（松本歯科大学教授・日本歯周病学会理事長）
「歯周病検査と診断」
辰巳順一（朝日大学口腔感染医療学講座歯周病学分野教授）
「歯周治療における歯科衛生士の基本知識とインスツルメンテーション」
荒木美穂（朝日大学歯科衛生士専門学校教務主任）
「基本的な歯周治療について」
水野智仁（広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学教授）
閉会式

令和7年10月5日、三重県津市の三重県歯科医師会館において第5回日本歯周病学会中部地区臨床研修会を開催いたしました。研修会前日よりあいにくの雨模様でしたが、参加者の皆様のおかげで開催することができました。

本臨床研修会は、「各地域の歯周病の予防ならびにその治療の向上を通じて国民の口腔保健に寄与する」目的を達成するための学会活動の一つとして、歯周病学・歯周治療学に関する新しい情報や技術、ガイドラインに沿った治療の啓発を行うため、全国各地にて開催されてきた研修会です。今回は、三重県歯科医師会に後援をいただいて開催することができました。稲本良則三重県歯科医師会会長、同会執行部関係各位、同会事務職員の方々の多大なご協力により、滞りなく準備・運営を行うことができました。

開催にあたり前日からの雨が当日も続きましたが、三重県内のみならず、東は東京都から西は兵庫県まで幅広い地域から、歯科医17名、歯科衛生士26名、計43名のご参加をいただきました。

今回の臨床研修会は「歯周治療を行おう！」をメインテーマとし、三重県歯科医師会からの要望もあり（ベーシック）と銘打って歯周治療に関して基本的な内容を確認し、歯周病学・治療学に関わる内容をアップデートする機会として、4名の先生方からご講演をいただきました。

当日は、大会長である辰巳順一先生による開会のご挨拶に始まり、吉成伸夫日本歯周病学会理事長から「日本歯周病学会の取り組み（認定制度を含めて）」の演題で歯周病予防・治療から全身への健康を目指すにあたり、2018年より世界標準となった歯周病の新分類、世界初の歯周組織再生薬剤bFGF製剤による歯周組織再生療法、日本歯科専門医機構の専門医制度への学会の取り組みを紹介・解説し、さらに今後の医科歯科連携も見据えて国民皆歯科健診への対応など講演していただきました。続いて辰巳順一大会長から「歯周病検査と診断」と題して、従来の保険診療上必要な歯周病検査に関する知識、さらには歯周病の新分類（2018年）に必要な検査について説明していただき、従来の歯周病検査に、新分類を行うための検査を追加することで、各検査項目の「何が違うのか？」を明確にしながら解説していただきました。また、近年上市されたさまざまな検査機器（唾液検査、細菌検査、口臭検査などに関する機器）に関してもその使用方法について、より正確な病態把握と臨床診断の一助にさせていただけるように解説していただきました。続いて、荒木美穂先生より「歯周治療における歯科衛生士の基本知識とインスツルメンテーション」と題して、歯周病における基礎知識を確認し、リスクに対する判断やスケーリングプロセスについて解説し、インスツルメンテーションの基礎を伝えていただき、また日本歯周病学会の認定歯科衛生士制度についても紹介していただきました。最後に水野智仁先生から、「基本的な歯周治療について」と題して、実際の歯周病治療を行うにあたり、歯周病治療はチーム医療であるということを認識する必要があります、歯科衛生士の力なしには歯周病治療がな

なかなか前に進まないのが現実であるため、歯科衛生士が中心になって進めた歯周病治療の症例を見せていただきました。また、正しい診断の下に歯周組織再生療法を行えば良い結果が得られるという、今まで歯周組織再生療法を行ったことがない先生にも「ちょっとやってみようかな」と思っていただけのような症例も

提示していただきました。4名の先生方の講演に対し参加した方々が非常に興味をもたれ、盛会のうちに幕を閉じることができました。ご参加くださった先生方、また三重県歯科医師会をはじめ本研修会に関係いただいたすべての先生方に心より感謝申し上げます。



第5回北海道地区臨床研修会開催報告

主催：特定非営利法人日本歯周病学会
 共催：一般社団法人十勝歯科医師会、科研製薬株式会社
 大会長：大滝達哉（一般社団法人十勝歯科医師会会長）
 準備委員長：長澤敏行（北海道医療大学歯学部教授）
 運営事務局：北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系歯周歯内治療学分野

日時：令和7（2025）年11月16日（日）
 10：00～16：00
 会場：十勝歯科医師会館（北海道帯広市東7条南9丁目15-3）

メインテーマ：最適な歯周治療を全ての人に
 —今日から認定制度にチャレンジ—

プログラム
 特別講演1「歯周治療学の変遷」
 古市保志（北海道医療大学）
 特別講演2「口腔-腸管連関アップデート：嚥下された歯周病菌のゆくえ」
 高橋直紀（北海道大学）
 特別講演3「口腔内細菌叢破綻の遠隔臓器および世代を超えた影響」
 片桐さやか（東京科学大学）

教育講演「認定制度にチャレンジ—適正な歯周治療をすべての人に届けよう—」

1：指導医・専門医がいないクリニックでも挑戦できる！ 日本歯周病学会認定歯科衛生士取得がもたらす臨床成果の可視化と自己成長

門 貴司（北海道医療大学）

2：歯周病学会認定医へのキャリアパス「継続した歯周治療の重要性」

清水伸太郎（北海道医療大学）

3：日本歯科専門医機構認定歯周病専門医へのキャリアパス「患者中心の歯周治療の実践」

加藤幸紀（北海道医療大学）

ランチョン&ハンズオンセミナー（協力 科研製薬株式会社）

門 貴司（北海道医療大学）、水野智仁・應原一久・清水 賢（広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学研究室）

令和7年11月16日、北海道帯広市において第5回北海道地区臨床研修会を開催いたしました。当日は「十勝晴れ」の良いお天気のおかげで、帯広市内外から歯科医師35名、歯科衛生士22名、合計57名の方に参加いただきました。

帯広市は札幌から特急列車で約3時間かかり、北海道医療大学スタッフだけでは到底、十分な準備ができません。そのようななかで、研修会開催にあたって十勝歯科医師会会長（本研修会大会長）の大滝先生はじめ、十勝歯科医師会の皆様と協力して運営し、また北海道医療大学歯学部同窓会北海道支部連合会、北海道医療大学歯科衛生士専門学校同窓会、北海道歯科衛生士会の皆様にも会の周知にご尽力いただき、非常にスムーズに開催準備を整えることができました。当日の研修会進行にあたっては、十勝歯科医師会学術部の先生には本当にお世話になりました。また歯周病学会からは吉成理事長はじめ、水野研修委員会委員長（広島大学教授）、ハンズオン協力に広島大学の應原先生（広島大学准教授）と清水先生（アルファ歯科クリニック



院長、広島大学大学院生)にも遠方からご参加いただきました。

今回の臨床研修会は「認定制度にチャレンジ—適正な歯周治療をすべての人に届けよう—」をテーマとし、特別講演として歯周病学・治療学の歴史的・理論的背景と最新の知見を、古市先生、高橋先生、片桐先生にご講演いただきました。さらに認定制度を身近に感じて認定取得を目指していただけるように、認定歯科衛生士・認定医・専門医取得をテーマに筆者(加藤)に加え、北海道医療大学の門先生と清水先生にご講演いただきました。さらに、認定医取得を目標としている若手歯科医師のスキルアップを目指し、リグロスを用いた歯周外科手術の基本をランチョン&ハンズオンセミナー(協力 科研製薬株式会社)として、門先生、水野先生、應原先生、清水先生の指導の下、実施いたしました。ハンズオン参加者からは、歯周外科の基本を学べてよかった、リグロスの要点が理解できた、縫合法を応用したい、といった感想が寄せられています。

大滝会長から、「北海道十勝地区では認定歯科衛生士取得に興味をもち、認定医・専門医のいる歯科医院への就職を希望する衛生士が多い。しかし同地区には専門医が1名のみであり、歯周病認定医・専門医ももっ

と増えてもらいたい」とのお話がありました。このお話を受け、本研修会が歯周病認定医・専門医・認定歯科衛生士へのステップアップの端緒となるのではないかと自負しています。さらに受講している歯科医師・歯科衛生士の皆様が、熱心に受講し、講演内容をしっかりと記録している様子を見て、学びの姿勢の強さを感じた次第です。

ご参加くださった歯科医師・歯科衛生士の皆様、協賛いただきました科研製薬株式会社様、また十勝歯科医師会をはじめ本研修会に関係いただいたすべての先生・衛生士の皆様に、心より感謝申し上げます。本研修会において歯周病学の奥深さに触れ、歯周病認定医・専門医・認定歯科衛生士取得を積極的に目指していこう、そのような気持ちを抱いていただけたのであれば幸いです。

余談ですが、帯広市出身の歯学部学生に本研修会のお手伝いとして参加していただきました。そのなかに初代十勝歯科医師会会長のひ孫の方もいて、歴代会長の写真の下で十勝歯科医師会の先生たちが和やかな雰囲気ですと話しされていたのが印象的でした。

臨床研修委員会委員 加藤幸紀

各賞・助成選考結果

各賞・助成の概要につきましては、学会ホームページに掲載しております。なお対象者および受賞者の所属は、選考・受賞時のものです。

シーズ育成若手奨励研究助成(令和7(2025)年度)

目見田 匠

(Nova southeastern university)

「B細胞におけるNR4A1-RANKL軸を標的とした新規歯周治療開発に向けた基盤研究」



第25回学術賞(LION Award:令和7(2025)年度)

新城尊徳

(九州大学大学院歯学研究院
口腔機能修復学講座歯周病学
分野)

「歯周病と糖尿病ならびに糖尿病合併症との関連における分子基盤の解明」



藤原千春

(大阪大学歯学部附属病院)

「歯周組織の恒常性を制御する分子ネットワークの動態解明と個別化医療への展開」



第 23 回会誌賞 (MORITA Award : 令和 7(2025)年度)

基礎分野 「*Porphyromonas gingivalis* リポ多糖は Toll-like receptor 2 および 4 を介して好中球細胞外トラップを発現する」 66 巻 (1) : 29-42, 2024

酒寄智央, 伊藤 弘,
沼部幸博

筆頭著者所属: 日本歯科大学
生命歯学部歯周病学講座



臨床分野 「COVID-19 感染拡大下における SPT 患者の来院間隔の変化と歯周病臨床パラメーターへの影響」 66 巻 (4) : 158-168, 2024

高井瑞穂, 齋藤由未, 伊藤正一,
武田 萌, 勝又 剛, 小林 諒,
中川就太, 西野智子, 服部菜見子,
細野恒太, 山崎真依, 山崎陽祐,
鶴屋祐人, 山口亜利彩, 小方頼昌

筆頭著者所属: 日本大学松戸歯学部歯周治療学講座/
日本大学松戸歯学部口腔科学研究所



優秀臨床ポスター賞
(Quintessence Award : 第 68 回春季学術大会)

最優秀賞ポスター賞

平野治朗

(神奈川・医療法人社団慈篤会 平野歯科医院)

「広汎型重度歯周炎の包括的歯周治療 + brachy-facial type の 30 年経過症例から歯周治療の大局を探る」



優秀賞ポスター賞

柴戸和夏穂

(福岡・船越歯科歯周病研究所)

「ステージ IV グレード C の歯周炎に対し、包括的治療を行わない患者の長期的な QOL を獲得した 1 症例」



ベストデンタルハイジニスト賞
(TAKARA BELMONT Award : 第 68 回春季学術大会)

佐藤未奈子

(千葉・土岡歯科医院)

「2 型糖尿病患者に対しライフステージの変化に応じた歯周治療を行った 10 年経過症例」



歯周組織再生医学優秀発表賞 (KAKEN Award)

第 68 回春季学術大会発表

森 心汰

(東京歯科大学歯周病学講座)

「塩基性線維芽細胞増殖因子 (FGF-2) の局所応用が骨粗鬆症状態下の歯周組織治療に及ぼす影響」



吉野 舞

(広島大学病院口腔先端治療開発学講座 (口腔検査センター))

「Direct conversion 骨芽細胞と 3 次元細胞集塊培養を用いた新規骨再生材料の開発」



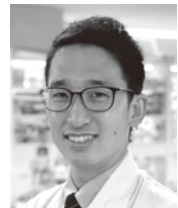
歯周組織再生医学優秀論文賞 (KAKEN Award)

今村健太郎

(東京歯科大学歯周病学講座)

“Periodontal regenerative therapy using recombinant human fibroblast growth factor (rhFGF)-2 in combination with carbonate apatite granules or rhFGF-2 alone : 12-month randomized controlled trial”

(Clinical Oral Investigations 2024, 7 : 28 : 574)



松田真司

(広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学)

“Predictive factors of periodontal regeneration outcomes using rhFGF-2: A case-control study”

(Journal of Periodontal Research 2024; 59 (4) : 679-688)



令和7(2025)年度功労賞

エビス株式会社

ストロマン・ジャパン株式会社

令和7(2025)年度地域活動賞

平塚市保険年金課

東京大学高齢社会総合研究機構

東京大学オーラルフレイル予防推進研究会

「お口の健康から始めるフレイル予防のまちづくり一産官学民協働によるオーラルフレイル予防の実際」

第11回若手合宿研修開催報告

若手合宿研修は、日本歯周病学会の若手研究者を対象として秋季学術大会の開催に併せて実施しており、今回が第11回目となりました。本研修は海外留学の促進、若手研究者間の交流、ならびにリサーチマインドの活性化を目的とし、学会理事の基調講演や留学経験のある先生方の経験談などをご講演いただいています。今年度は新潟県の月岡温泉ホテルひさご荘にて開催されました。

研修会は、学会あり方委員会委員長の齋藤 淳教授のご挨拶で開始しました。まず初めに基調講演として九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座歯周病学分野 西村英紀教授にご登壇いただきました(写真1)。ご講演では、先生ご自身の出生から大学進学にいたる話、また留学中の研究やご経験について、特に西村先生がペリオドンタルメディスンを世界でリードするようになった経緯など、多くのお話をいただきました。なかでも若手研究者たちへのメッセージとして、今後の研究や人生を変えることになる研究者との出会いや経験が大きな財産になるというお話をされ、若手研究者の留学への気持ちを高めていただきました。続く若手留学経験者からの発表では、広島大学 目見田匠先生(留学先:米国ノバサザンイースタン大学)にご講演いただきました。目見田先生は2025年9月に帰国したばかりで、留学の最新情報を共有していただきました。物価高による生活の難しさもありながら、研究に専念することで、多くの成果を上げることがで

きたとお話しいただきました。最後には、留学が必ず良い経験になると、若手研究者の背中を押してくれました(写真2)。研修会の最後には、サンスター財団の高世直子様より、サンスター財団の留学助成について案内していただきました。従来との変更点についてご説明いただき、研究内容や施設は限定されなくなったこと、またアメリカドルで支援されるため、為替に影響しないことなどのメリットについてご案内いただきました。若手研究者からは、ぜひ挑戦したいという声を聞けました。

研修会後に懇親会を行いました。このたびは総勢40名以上の参加者となり、さまざまな大学の参加者が、普段話す機会のない他大学の若手研究者や、ワーキング委員、また理事の先生方と研究や留学について語り合い交流を図れた、大変よい会となりました(写真3)。

研修後に行ったアンケート調査では、「講演後、あなたの留学への思いは」という質問に対し、「強くなった」との意見が多数寄せられました。また、今後の合宿研修に関しても継続の希望の声が大変多くありました。

来年度以降も引き続き、学会の若手研究者の皆様にとって有益なコンテンツとして企画して参りますので、奮ってのご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、参加された先生方のご協力により、無事開催することができました。本研修会の企画・開催にあたり、ご講演いただきました西村教授、目見田先生、学会あり方委員会委員長の齋藤教授、そ



写真1



写真2



写真3

してワーキンググループの先生方に感謝申し上げます。

2025 年度幹事 松田真司（広島大学）

次回幹事よりお知らせ：次回「若手合宿研修」は、第 69 回秋季日本歯周病学会学術大会に併せて開催いたします。広島の地で、若手の先生方同士が知り合い、留学について知見を広められるような研修を予定しています。留学や研究に興味のある若手研究者の皆さんのご参加をお待ちしております。

2026 年度幹事 鬼塚 理（九州歯科大学）

日本歯周病学会会誌のご案内

前回のニュースレター以降、日本歯周病学会会誌に掲載されました論文をご紹介します。日本歯周病学会会誌は 2015 年よりオンライン化され、J-STAGE で閲覧できます。また、発行に合わせてメールアラートを配信しておりますので、学会にメールアドレスを登録されていない会員各位におかれましては、本学会ホームページよりご登録をお願いします。

日本歯周病学会会誌

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/periodo/-char/ja>



日本歯周病学会会誌 Vol. 67 (2025) No. 3

・総説

「歯周病の病態解明，並びに治療法開発のための歯肉
上皮・歯根膜の特性の解明」

臼井通彦

・ミニレビュー

「細胞老化と高齢者の歯周病」

山下元三，池上久仁子，村上伸也，竹立匡秀

・原著

「スケーリング・ルートプレーニングおよびEr:YAG
レーザーを用いた歯肉縁下スケーリングによる生体ス
トレス反応：パイロット研究」

保莉崇大，野中由香莉，濃野 要，杉原俊太郎，
新井恭子，鎗田将史，宮沢春菜，山本裕子，佐藤友則，

高橋直紀，小松康高，小牧基浩，多部田康一，
両角俊哉

日本歯周病学会会誌 Vol. 67 (2025) No. 4

・総説

「脂肪細胞—マクロファージ相互作用による炎症の増
幅機構の解明」

岩下未咲

・原著

「臼歯部の歯周組織再生療法による骨再生と咬合支持
域に関する後ろ向き研究」

齋藤由未，五十嵐憲太郎，伊藤正一，目澤 優，
高井瑞穂，高井英樹，小方頼昌，中山洋平

役員名簿

日本歯周病学会役員（令和7（2025）年4月1日～令和9（2027）年3月31日）

理事長	吉成伸夫						
副理事長	岩田隆紀						
常任理事	稲垣幸司	河口浩之	木下淳博	小牧基浩	齋藤 淳	佐藤秀一	高柴正悟
	竹立匡秀	辰巳順一	多部田康一	長澤敏行	中島貴子	新田 浩	林 丈一朗
	藤田 剛	松下健二	水野智仁	三谷章雄	山田 聡	山本松男	湯本浩通
前理事長	沼部幸博						
監事	村上伸也	吉江弘正					
庶務担当	吉村篤利	（幹事 出分菜々衣）		会計担当	佐藤 聡	（幹事 両角祐子）	
学会運営調整役	西村英紀						
名誉会員	安孫子直光	雨宮 璋	新井 高	荒川真一	池田雅彦	石川 烈	伊集院直邦
	和泉雄一	伊藤公一	伊東隆利	上田雅俊	上野和之	梅田 誠	太田紀雄
	大塚吉兵衛	大野友三	岡田 宏	小方頼昌	岡本 浩	奥田克爾	加藤 熙
	金子 至	鴨井久一	栢 豪洋	川瀬俊夫	川浪雅光	栗原英見	五味一博
	斎藤和子	坂上竜資	雫石 聡	島内英俊	下野正基	申 基喆	末田 武
	菅谷 勉	田中昭男	谷口威夫	出口真二	中島啓介	永田俊彦	中村治郎
	二階宏昌	西原達次	野口和行	野村慶雄	原 宜興	東 克章	廣瀬哲之
	福田光男	船越栄次	古市保志	前田勝正	三辺正人	宮下 元	宮田 隆
	村山伸也	森田山二	森市 学	八重柏 隆	矢嶋俊彦	山崎和久	山田 了
	横田 誠	吉江弘正	渡邊達夫				
	Alice DeForest	Gregory J. Seymour	Martin A. Taubman	Pierre C. Baehni			
	Thomas E. Van Dyke						

評議員 □理事長 ●副理事長 ◎常任理事 ○理事

北海道大学大学院歯学研究科	今村健太郎(歯周病, 准)	神奈川歯科大学
○高橋直紀(歯周病, 教)	○石原和幸(微生物, 教)	◎○小牧基浩(歯周病, 教)
田中佐織(大学病院, 教)	伊藤太一(口腔インプラント学, 准)	杉原俊太郎(歯周病, 講)
北海道医療大学歯学部	日本歯科大学生命歯学部	○児玉利朗(横浜クリニック, 教)
◎○長澤敏行(歯周・歯内, 教)	○沼部幸博(歯周病, 教)	鎌田要平(横浜クリニック, 准)
加藤幸紀(歯周・歯内, 講)	伊藤 弘(歯周病, 准)	鶴見大学歯学部
森 真理(大学病院, 講)	関野 愉(歯周病, 准)	○長野孝俊(歯周病学, 教)
門 貴司(歯学教育開発, 准)	五十嵐寛子(歯周病, 講)	八島章博(歯周病学, 准)
岩手医科大学歯学部	倉治竜太郎(歯周病, 講)	小林一行(短期大学部, 教)
○佐々木大輔(歯周療法学, 教)	葛城啓彰(共同利用研究セ, 教)	白川 哲(短期大学部, 教)
村井 治(歯周療法学, 講)	○仲谷 寛(総合診療, 教)	北村景子(附属病院, 衛)
東北大学大学院歯学研究科	小川智久(総合診療, 教)	松本歯科大学
◎○山田 聡(歯内・歯周, 教)	大澤銀子(総合診療, 准)	□○吉成伸夫(保存(歯周), 教)
根本英二(歯内・歯周, 准)	加藤智崇(総合診療, 准)	○宇田川信之(生 化, 教)
奥羽大学歯学部	日本歯科大学新潟生命歯学部	音 琴 淳一(健康増進口腔科学, 教)
白井通彦(歯周病, 教)	◎○佐藤 聡(歯周病, 教)	小出雅則(硬組織疾患制御再建, 准)
新潟大学大学院医歯保健学研究科	両角祐子(歯周病, 准)	田口 明(歯科放射線, 教)
◎○多部田康一(歯周診断・再建, 教)	大森みさき(総合診療, 准)	西窪結香(大学病院, 衛)
杉田典子(歯周診断・再建, 講)	高塩智子(総合診療, 准)	吉田明弘(微生物, 教)
野中由香莉(口腔保健, 教)	○両角俊哉(保存1, 教)	朝日大学歯学部
明海大学歯学部	平野恵実(歯科衛生科, 衛)	◎○辰巳順一(歯周病, 教)
◎○林 丈一朗(歯周病, 教)	日本大学歯学部	北後光信(歯周病, 准)
猪俣 恵(微生物, 教)	◎○佐藤秀一(歯周病, 教)	菊池 毅(歯周病, 准)
東京科学大学	高山忠裕(歯周病, 准)	須藤瑞樹(歯周病, 講)
◎○岩田隆紀(歯周病, 教)	蓮池 聡(歯周病, 准)	友藤孝明(社会口腔保健, 教)
青木 章(歯周病, 教)	今井健一(感染免疫学, 教)	荒木美穂(歯科衛生士専門学校, 衛)
芝 多佳彦(歯周病, 講)	日本大学松戸歯学部	愛知学院大学歯学部
前川祥吾(歯周病, 助教)	○中山洋平(歯周治療, 教)	◎○三谷章雄(歯周病, 教)
竹内康雄(生涯口腔保健衛生, 教)	高井英樹(歯周治療, 准)	林 潤一郎(歯周病, 准)
片桐さやか(口腔生命医科, 教)	高井瑞穂(歯周治療, 講)	後藤久嗣(歯周病, 准)
◎○木下淳博(教育メディア開発, 教)	泉福英信(感染免疫, 教)	西田英作(歯周病, 講)
◎○新田 浩(総合診療歯科, 教)	昭和医科大学歯学部	◎○稲垣幸司(短期大学, 教)
水谷幸嗣(総合診療歯科, 講)	◎○山本松男(歯周病, 教)	○長谷川義明(微生物, 教)
東京歯科大学	滝口 尚(歯周病, 准)	大阪歯科大学
◎○齋藤 淳(歯周病, 教)	小出容子(歯周病, 講)	嘉藤弘仁(歯周病, 准)
富田幸代(歯周病, 准)	須田玲子(歯周病, 講)	沖永敏則(微生物, 教)

前田博史(口腔治療, 教)
大阪大学大学院歯学研究科
◎○竹立匡秀(口腔治療, 教)
山下元三(口腔治療, 講)
野崎剛徳(総合歯科, 准)
徳島大学歯学部
◎○湯本浩通(歯周歯内, 教)
二宮雅美(歯周歯内, 助教)
稲垣裕司(歯周病科, 講)
尾崎和美(口腔保健支援, 教)
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
◎○高柴正悟(歯周病態, 教)
大森一弘(歯周病態, 准)
○山本直史(総合歯科, 教)
広島大学歯学部
◎○水野智仁(歯周病態, 教)
◎○河口浩之(歯科医学教育学, 教)
柴秀樹(歯髓生物, 教)
九州歯科大学
村岡宏祐(歯科衛生士育成, 教)

守下昌輝(ケリカルテークニック開発, 准)
九州大学大学院歯学研究科
讀井彰一(大学病院, 講)
福田隆男(大学病院, 講)
福岡歯科大学
○吉永泰周(歯周病, 教)
○金子高士(口腔医療センター, 教)
米田雅裕(総合歯科, 教)
田中芳彦(感染生物, 教)
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
○白方良典(歯周病, 教)
中村利明(歯周病, 講)
長崎大学歯学部
◎○吉村篤利(歯周歯内, 教)
尾崎幸生(歯周歯内, 助教)
鶴飼孝(口腔管理センター, 教)
慶應義塾大学
○中川種昭(歯科・口腔外科, 特任)
森川暁(歯科・口腔外科, 教)
千葉県立保健医療大学健康科学部

鈴木瞳(歯科衛生学科, 衛)
大垣女子短期大学
◎○松下健二(歯科衛生学科, 教)
神戸常盤大学保健科学部
山城圭介(口腔保健学科, 教)
高橋由希子(口腔保健学科, 衛)
静岡県立大学短期大学部
吉田直樹(歯科衛生学科, 教)
東京歯科大学短期大学
○杉戸博記(歯科衛生学科, 教)
日本歯科大学東京短期大学
○野村正子(歯科衛生学科, 衛)
松澤澄枝(歯科衛生学科, 衛)
特定非営利活動法人日本臨床歯周病学会
○石谷昇司(推 薦)
公益社団法人日本歯科衛生士会
○河野章江(推 薦)

一般関係 (五十音順)

相野 誠(愛知県)
赤堀 康(愛知県)
浅原洋士(徳島県)
新井英雄(岡山県)
有田博一(東京都)
飯野文彦(東京都)
池田康男(静岡県)
池田頼宣(東京都)
○石原裕一(愛知県)
市原健太郎(福岡県)
市村 光(埼玉県)
伊藤正満(愛知県)
稲垣伸彦(東京都)
岩田光弘(岡山県)
岩野義弘(東京都)
岩本義博(香川県)
○内田剛也(神奈川県)
内田雄士(広島県)
江田昌弘(神奈川県)
遠藤憲行(岩手県)
大石慶二(香川県)
大江丙午(岡山県)
岡部京平(京都府)
小田 茂(千葉県)
片山明彦(東京都)
鎌田征之(東京都)
上條博之(長野県)

亀井英彦(栃木県)
鴨井久博(東京都)
川村浩樹(東京都)
菊池重成(東京都)
北村秀和(東京都)
北村正博(大阪府)
木次大介(長野県)
木戸淳一(徳島県)
木村英隆(福岡県)
久保田健彦(新潟県)
熊谷敦史(岩手県)
○黒柳隆穂(愛知県)
香坂陽介(山口県)
小林哲夫(新潟県)
小林宏明(東京都)
斎田寛之(埼玉県)
迫田賢二(鹿児島県)
佐藤昌美(北海道)
真岡淳之(滋賀県)
佐野哲也(東京都)
澤田弘一(岡山県)
汐見 登(静岡県)
志田哲也(神奈川県)
渋川義宏(北海道)
島袋善夫(大阪府)
鈴木瑛一(東京都)
鈴木基之(東京都)

関野 仁(東京都)
田井秀明(新潟県)
高井靖子(群馬県)
高島昭博(福岡県)
高橋潤一(東京都)
高山真一(滋賀県)
滝川雅之(岡山県)
田口洋一郎(大阪府)
武内崇博(神奈川県)
田中繁寿(岐阜県)
田中秀樹(福岡県)
田中真喜(神奈川県)
谷口崇拓(長野県)
土岡弘明(千葉県)
土井伸浩(広島県)
富井信之(新潟県)
◎○中島貴子(新潟県)
中田貴也(京都府)
長縄敬弘(愛知県)
永原隆吉(広島県)
成石浩司(岡山県)
西田哲也(東京都)
菱川敏光(岐阜県)
備前島崇浩(千葉県)
平井友成(福岡県)
○平野治朗(神奈川県)
平野裕之(京都府)

藤川謙次(東京都)
◎○藤田剛(三重県)
藤本 淳(岩手県)
保坂均(群馬県)
穂坂康明(東京都)
牧野朗(富山県)
町頭三保(鹿児島県)
三浦真由美(福岡県)
○水上哲也(福岡県)
峯柴淳二(岡山県)
宮尾益佳(新潟県)
村上 弘(愛知県)
村田雅史(新潟県)
村橋慶宣(大阪府)
目澤 優(埼玉県)
茂木信道(神奈川県)
茂木美保(東京都)
安田忠司(愛知県)
梁川輝行(岩手県)
柳田 学(大阪府)
山崎幹子(福島県)
山下素史(福岡県)
吉田 茂(福岡県)
○若林健史(東京都)
渡辺和志(埼玉県)
渡辺孝章(神奈川県)
渡辺 久(東京都)

賛助会員

医歯薬出版(株)
(株)NDC
エビス(株)
(有)エルバ
(株)オルコア
(株)ガイドデント
花王(株)
科研製薬(株)
クインテッセンス出版(株)
小林製薬(株)
佐藤製薬(株)
サンスター(株)
サンデンタル(株)
三宝製薬(株)

(株)ジーシー
(株)ジーシー昭和薬品
(株)松風
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
ジンヴィ・ジャパン合同会社
ストローマン・ジャパン(株)
タカラベルモント(株)
(株)デンタルダイヤモンド社
デンタルプロ(株)
デンツプライシロナ(株)
(株)トクヤマデンタル
(株)ナカニシ
(株)ニッシン
日本歯科薬品(株)

白水貿易(株)
ヒューフレディ・ジャパン合同会社
(株)フィリップス・ジャパン
Haleon ジャパン(株)
ホワイトエッセンス(株)
(株)マイクロテック
(株)モリタ
(株)ヨシダ
ライオン(株)
ライオン歯科材(株)
Luke (株)
(株)ワイディエム

(五十音順)

日本歯科医学会役員（令和7（2025）年4月1日～令和9（2027）年3月31日）

理事 吉成伸夫
評議員 岩田隆紀 小牧基浩 齋藤 淳
予備評議員 木下淳博 佐藤秀一 吉村篤利

【お願い】 名称の変更・所属評議員の異動等ありましたら、すみやかに事務局までご連絡ください。

編集後記

ニュースレター 2026年4月号をお届けします。巻頭では2026年11月、京都市で開催されます Asian Pacific Society of Periodontology (APSP) Meeting について、村上伸也名誉会員・監事/APSP 事務局長からのご案内を掲載しています。2013年9月に奈良県にて開催された、第10回 APSP 以来の日本国内での開催になります。アジア太平洋地域の国際交流を通じて、各国の歯周病学・歯周治療学の現状や考え方および今後の展望等を共有できる貴重な機会となりますので、会員の皆様にはぜひご参加いただきたいと思います。また、本学会の発展に尽力された故・荒木久生先生、故・岡本 莫先生の追悼文も掲載しています。

今秋に広島市で開催されます第69回秋季学術大会（水野智仁大会長）のご案内も、ぜひご一読ください。「初志貫徹」のテーマで充実したプログラムが組まれています。ペリオドンタルメディスン研究のトップランナーである西村英紀先生（九州大学）のご講演をはじめとした基礎研究や、大月基弘先生（DUO デンタルクリニック）の特別講演、若手歯科医師や歯科衛生士に向けた臨床発表、ワークショップおよびハンズオンセミナーなど、基礎と臨床のバランスを考慮された内容になっています。

学術大会における各ポスター発表規定、ポスター賞応募のお知らせ、各認定制度の申請および更新についてご案内しています。日本歯科専門医機構報告と併せてご確認・ご対応をお願いいたします。

広報委員会からは、国民向けホームページ「ぺりおぶっく」とPR動画「にゃんかむちゅ～」の学会プロモーション活動について報告しています。「にゃんかむちゅ～」は新しいLINE スタンプが公開されました。患者様への啓発、学生への教育等、幅広く利用されることを期待しています。

2026年10月、シアトルで行われる第112回アメリカ歯周病学会共催日本臨床歯周病学会・日本歯周病学会2026大会のご案内を掲載しています。また、令和7年度の各賞・助成選考結果について報告しています。日本歯周病学会では、基礎・臨床・専門分野を問わず、幅広い分野の賞が設立されています。若手臨床ポスター賞をはじめ、若手の先生方の育成・支援が充実しています。日頃の臨床・研究の成果を発表するだけでなく、モチベーションの向上のためにも各賞へのエントリーをお勧めします。

最後になりましたが、新年度を迎え、環境の変化や新たな出会いがあるなか、前年度の振り返りと新年度の展望を再確認し、よりアクティブに活動されるよう、本誌が少しでも寄与できれば幸いです。

(広報委員会委員 中山洋平)